

水産三者合同意見交換会

日 時 : 令和3年11月24日(水) 16:00~
場 所 : ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
出席者 : 熊本県議会水産振興議員連盟 13名
熊本県執行部 17名
熊本県漁連役員・部会長 12名

水産業を取り巻く環境は、昨年からの新型コロナウイルスによる外出自粛や輸出の停滞の影響から水産物の在庫が増加し魚価が大幅に下落するなど、かつて経験したことのない厳しい状況となっております。

本県においても例に漏れずその影響を受け、更には漁業就業者数の減少や高齢化、温暖化の影響による藻場縮小、漁業生産量の減少、度重なる災害による漁場・航路の荒廃など、自助努力では解消・解決できない多くの問題や課題を抱えています。

このような現状に立ち、漁業を成長産業化し漁家経営を安定させるため、今年度も当漁連を組織する第1部会から第6部会までの各部会から現状を打開するための要望を取りまとめ熊本県議会水産振興議員連盟及び熊本県に要望書として提出し、要望内容について活発で有意義な意見交換を行いました。

要望内容

- 新型コロナウイルスの影響による漁家経営支援策
- 水産資源回復・漁場改善対策
- 漁場のごみ対策
- 漁港・航路改善対策
- 補助事業の継続と新設
- 漁業免許改正に伴う権益の確保
- 操業トラブル防止対策
- 漁場改善計画基準見直し
- 就業者確保・外国人雇用の条件緩和
- 御所浦第二架橋の早期着工
- 水産専門技術員養成対策の継続
- 陸上の水産加工施設等への民間事業誘致促進対策

【主催者挨拶】



熊本県漁連 藤森会長

【来賓挨拶】



熊本県議会水産振興議員連盟 吉永会長



熊本県農林水産部 竹内部長

【要望書提出】



熊本県議会水産振興議員連盟



熊本県県知事（代理：竹内部長）

【意見交換】



【閉 会】



熊本県漁連 橋本副会長